

ほっかいどう子育て応援共同宣言

北海道の未来を担う子どもたちは北海道の宝であり、すべての子どもたちが、この広い大地と豊かな自然の中で、のびのびと心豊かに成長していくことは、北海道に生きる私たちの共通の願いです。

しかしながら、本道では全国を上回る早さで少子化が進行しており、こうした少子化の進行は、子ども同士のふれあいの機会が少なくなり自主性や社会性が育ちにくくなること、また、生産年齢人口の減少等により地域社会や経済の活力が低下することなど、本道の将来に広く深刻な影響を与えることが懸念されます。

これらの状況を踏まえ、子育ては次代の担い手を育成する営みであるという観点から、子どもの価値を社会全体で共有し、子育て家庭が安心と喜びをもって子育てにあたれるよう、家族や地域のきずなを強化することが必要であり、そのために行政や企業、地域社会が連携して社会全体の意識改革に取り組むことが求められています。

その中で、仕事と子育てを両立できる環境の整備は大変重要なことであり、行政と企業が互いに連携して取り組むことが必要です。

このようなことから、社団法人北海道商工会議所連合会、北海道経営者協会、北海道経済同友会、北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会及び北海道の6者は、社会全体で子育てを応援する気運の醸成や、職場の活性化などを図るため、次の取組を連携して進め、子どもたちの未来に夢や希望がもてる活力ある北海道の実現を目指すことを宣言します。

記

1 社会全体による子育て支援の推進

子育ての時期に家族の時間を大切にする「道民育児の日」や、家族が団らんする機会である「道民家庭の日」を広く周知し、その活用を促進するなど、社会全体で子どもを生み育てることや子どもの成長をしっかりと支えることができるよう、地域における子育て力の向上に努めます。

2 ワーク・ライフ・バランスの促進

(1) 就労による経済的自立の支援

将来の産業の担い手であり、家庭を持つ親ともなる若者が経済的に自立し、結婚や子育てに関する希望が実現できるよう、インターンシップ等、各種事業の周知とその活用を促進することにより、若年者の就労を支援します。

(2) 健康で豊かな生活を実現できる職場環境づくりの促進

働く人々の健康が保持され、家族、友人などとの充実した時間、生活などを確保できるよう、長時間勤務の抑制や年次有給休暇の取得など、働き方の見直しについての取組を促進します。

(3) 多様な働き方の促進

子育てや親の介護など、個人の置かれた状況に応じた柔軟な働き方ができるよう、育児・介護休業制度など、多様な働き方の選択ができる制度を促進します。

また、出産などを理由に退職した、働く意欲のある女性が再び活躍できるチャンスを得られるよう、関係団体が行う取り組みの情報提供等に努めます。

平成21年11月11日

(社)北海道商工会議所連合会会頭

高 岡 敬

北海道経営者協会会長

佐々木正徳

北海道経済同友会代表幹事

坂本真一

北海道商工会連合会会長

川田憲秀

北海道中小企業団体中央会会長

東 廣

北海道知事

斎藤 正幸